



ぶどうだより(No.11)



9月29日(木)
ぶどう組

～絵本って面白いね!～

ぶどう組の子ども達は絵本が大好きです。本棚から自分で好きな絵本を出して見たり、保育者に“読んで”と絵本を差し出したりする姿がよく見られます。保育者が読み聞かせをしようとする時、保育者の前に自分から座ったり絵本を指さしながら嬉しそうに表情をしたりします。保育者が選んだ絵本の中から子ども達がどの絵本を読んでもほしいか決める時もあります。読み始めると、集中してじっと見ている子もいれば、知っている動物や物が出てくると指を差して「びよんびよん！」等とその名前を言っている子もいます。

絵本を見ながら、保育者の言った言葉を真似して発したり同じ動作をしたりすることで言葉の発達を促したり表現することの楽しさを味わったりすることができます。1,2歳の時期は言葉に興味を示す時期なので、絵本の読み聞かせをして話すことを楽しんでいきたいと思えます。

読み聞かせ



遊びの時間



どの絵本を見ようか選んでいます。



子ども達が好きな絵本3選

『むすんで ひらいて』

「むすんで ひらいて」の手遊びの絵本です。手遊びが始まるとこの絵本を持ってくる子がいるくらい人気の絵本です。



『とんとんとん』

扉を「とんとんとん」と叩くと、友だちの動物たちが出てくる絵本です。読んでいる時に「とんとんとん」と言うと子ども達は扉を叩く真似をします。



『おふろで ひかひか』

動物と女の子がお風呂に入っている絵本です。“ゴシゴシキュッ”という動作があるのですが、子ども達は保育者の真似をして体を洗う仕草をしていますよ。

